

令和8年5月29日公表

## 令和7年漁業・養殖業生産統計

令和7年の漁業・養殖業生産量は357万7,400 tで、前年に比べて1.6%減少  
海面漁業の漁獲量は270万500 tで、同3.1%減少  
海面養殖業の収穫量は83万1,900 tで、同3.6%増加

### 【調査結果の概要】

令和7年の漁業・養殖業の生産量は357万7,400 tで、前年に比べて5万8,800t (1.6%) 減少した。

- 1 海面漁業の漁獲量は270万500 tで、まいわし、さば類等が増加したものの、ほたてがい、かつお等が減少し、前年に比べて8万5,700 t (3.1%) 減少した。
- 2 海面養殖業の収穫量は83万1,900 tで、のり類、わかめ類等が増加し、前年に比べて2万9,000 t (3.6%) 増加した。
- 3 内水面漁業・養殖業の生産量は4万5,011tで、うなぎの増加により内水面養殖業の収穫量は増加したものの、さけ・ます類やしじみ等の減少により内水面漁業の漁獲量が減少したことから、前年に比べて2,035 t (4.3%) 減少した。

図1 海面漁業主要魚種別漁獲量の推移

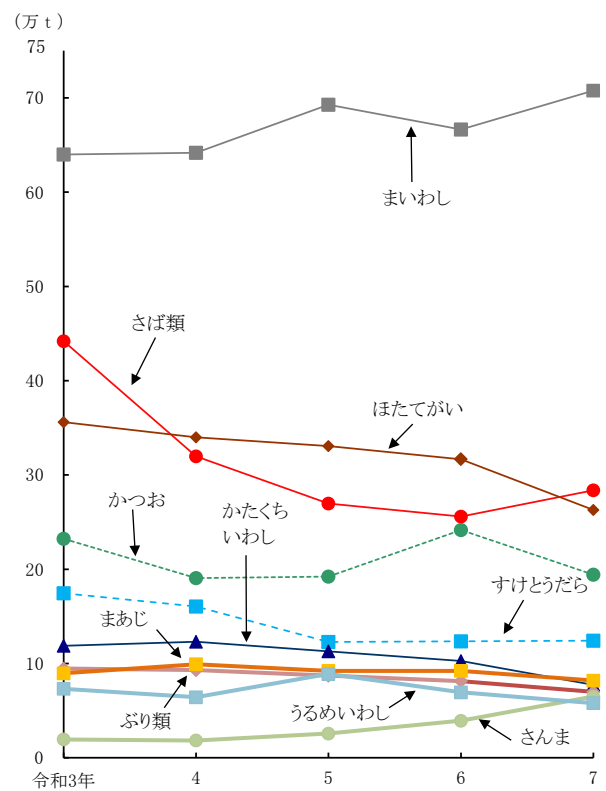
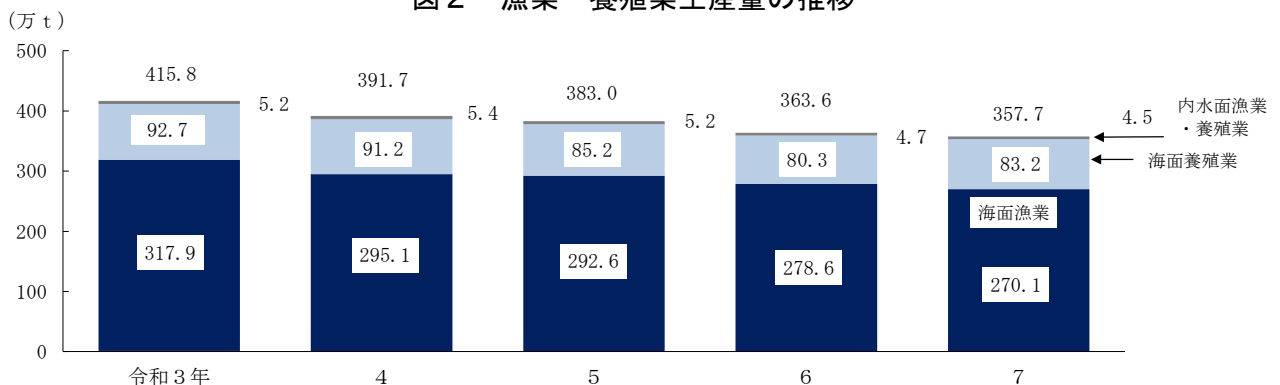


図2 漁業・養殖業生産量の推移



注：統計数値については表示単位未満を四捨五入したため、合計値と内訳の計が一致しない場合がある（以下において同じ）。

◎累年データ

### 1 生産量の推移

単位：千t

年次	合計	海面						内水面		
		計	漁業				養殖業	計	漁業	養殖業
			小計	遠洋	沖合	沿岸				
平成 28 年	4,368	4,305	3,273	334	1,945	994	1,033	63	28	35
29	4,306	4,244	3,258	314	2,052	893	986	62	25	37
30	4,427	4,371	3,366	349	2,048	969	1,005	57	27	30
令和 元	4,204	4,151	3,235	329	1,977	930	915	53	22	31
2	4,236	4,185	3,215	298	2,046	871	970	51	22	29
3	4,158	4,106	3,179	279	1,963	937	927	52	19	33
4	3,917	3,863	2,951	262	1,804	886	912	54	23	32
5	3,830	3,778	2,926	254	1,801	871	852	52	22	30
6	3,636	3,589	2,786	289	1,735	762	803	47	18	29
7 (概数)	3,577	3,532	2,701	271	1,686	745	832	45	15	30

資料：農林水産省統計部「漁業・養殖業生産統計」（以下2において同じ。）

注：海面漁業における「遠洋」、「沖合」及び「沿岸」の内訳は、下記URLの用語の解説を参照。

[https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhvou/kaimen\\_gyosei/gaiyou/#11a](https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhvou/kaimen_gyosei/gaiyou/#11a)

### 2 海面漁業主要魚種別漁獲量の推移

単位：千t

年次	まいわし	さば類	ほたて がい	かつお	すけと うだら	まあじ	かたくち いわし	ぶり類	さんま	うるめ いわし
平成 28 年	382	507	214	228	134	125	171	108	114	98
29	498	519	236	219	129	145	146	120	84	73
30	524	545	305	248	127	118	111	100	129	55
令和 元	561	452	339	229	154	97	130	109	46	61
2	698	390	346	188	160	98	144	106	30	43
3	640	442	356	232	175	90	119	95	20	73
4	642	320	340	191	160	99	123	93	18	64
5	693	270	331	192	123	92	113	87	26	89
6	666	256	317	242	124	92	103	81	39	69
7 (概数)	708	284	263	194	124	82	77	70	65	58

## 【調査結果】

### 1 海面漁業・養殖業生産量

#### (1) 海面漁業（統計表1(1)～(5)参照）

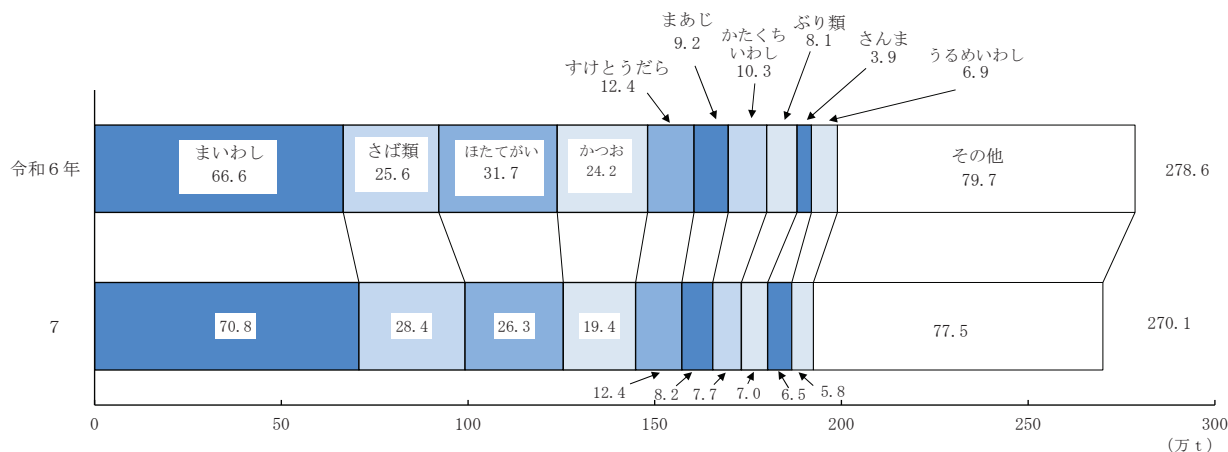
令和7年の海面漁業の漁獲量は270万500 tで、まいわし、さば類等が増加したものの、ほたてがい、かつお等が減少し、前年に比べて8万5,700 t（3.1%）減少した。

漁獲量の多い上位5魚種（まいわし、さば類、ほたてがい、かつお及びすけとうだら）の動向をみると、次のとおりである。

- (ア) まいわしは70万7,600 tで、千葉県等で増加し、前年に比べて4万1,200 t（6.2%）増加した。
- (イ) さば類は28万3,800 tで、長崎県等で増加し、前年に比べて2万7,900 t（10.9%）増加した。
- (ウ) ほたてがいは26万3,000 tで、北海道等で減少し、前年に比べて5万3,700 t（17.0%）減少した。
- (エ) かつおは19万4,300 tで、静岡県、宮崎県等で減少し、前年に比べて4万7,400 t（19.6%）減少した。
- (オ) すけとうだらは12万4,300 tで、前年に比べて700 t（0.6%）増加した。

注： 本調査においては、海面漁業経営体の所在地に集計値を計上した（以下(2)において同じ。）。

図3 海面漁業魚種別漁獲量



(2) 海面養殖業（統計表1(6)、(7)参照）

令和7年の海面養殖業の収穫量は83万1,900 tで、のり類、わかめ類等が増加し、前年に比べて2万9,000 t（3.6%）増加した。

ア 魚類養殖

魚類養殖の収穫量は24万4,300 tで、前年に比べて6,100 t（2.4%）減少した。

(ア) ぶり類の収穫量は11万9,300 tで、愛媛県、鹿児島県等で減少し、前年に比べて1万2,100 t（9.2%）減少した。

(イ) まだいの収穫量は6万9,500 tで、前年に比べて1,100 t（1.6%）増加した。

図4 魚類養殖の魚種別収穫量

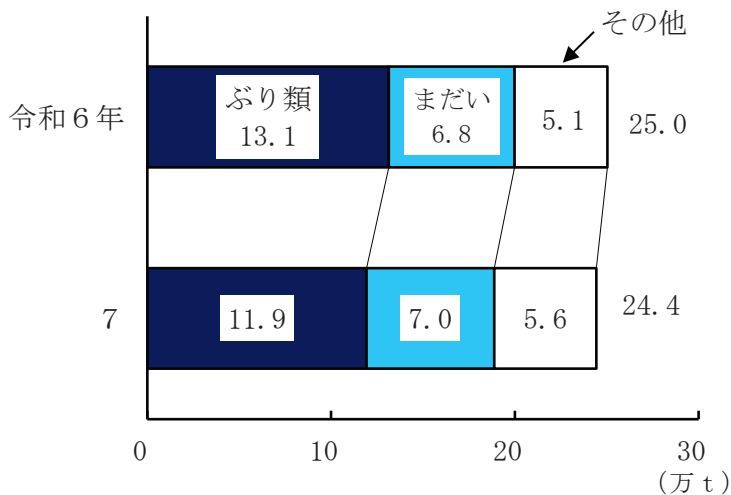


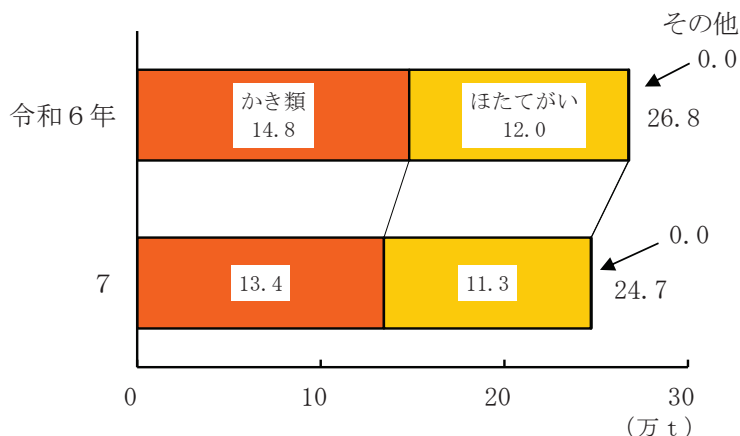
図5 貝類養殖の魚種別収穫量

イ 貝類養殖

貝類養殖の収穫量は24万7,400 tで、前年に比べて2万600 t（7.7%）減少した。

(ア) かき類の収穫量は13万4,400 tで、広島県等で減少し、前年に比べて1万3,700 t（9.3%）減少した。

(イ) ほたてがいの収穫量は11万2,700 tで、青森県等で減少し、前年に比べて6,800 t（5.7%）減少した。



注： このグラフで用いる「0.0」は、単位に満たないものを示す。（例：0.04 t → 0.0 t）

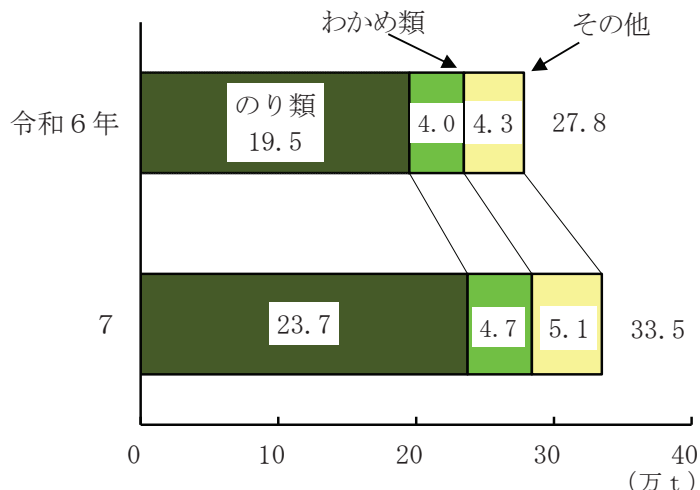
図6 海藻類養殖の魚種別収穫量

ウ 海藻類養殖

海藻類養殖の収穫量は33万4,800 tで、前年に比べて5万6,700 t（20.4%）増加した。

(ア) のり類の収穫量は23万7,300 tで、兵庫県等で増加し、前年に比べて4万2,300 t（21.7%）増加した。

(イ) わかめ類の収穫量は4万6,800 tで、宮城県等で増加し、前年に比べて7,100 t（17.9%）増加した。



## 2 内水面漁業・養殖業生産量

### (1) 内水面漁業（統計表 2（1）、（2）参照）

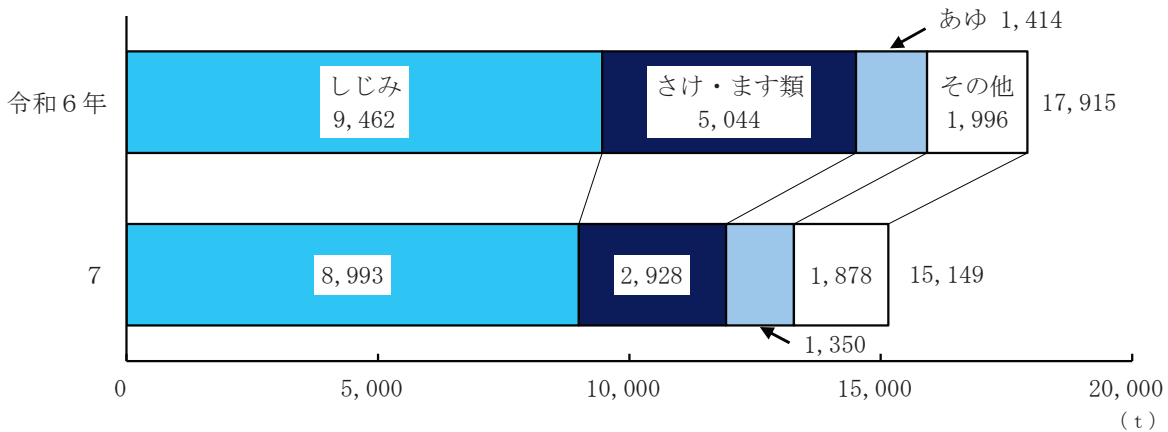
令和 7 年の内水面漁業の漁獲量は 1 万 5,149 t で、さけ・ます類、しじみ等の漁獲量が減少し、前年に比べて 2,766 t（15.4%）減少した。

ア しじみは 8,993 t で、茨城県等で減少し、前年に比べて 469 t（5.0%）減少した。

イ さけ・ます類は 2,928 t で、北海道等で減少し、前年に比べて 2,116 t（42.0%）減少した。

ウ あゆは 1,350 t で、前年に比べて 64 t（4.5%）減少した。

図 7 内水面漁業魚種別漁獲量



### (2) 内水面養殖業（統計表 2（1）、（3）参照）

令和 7 年の内水面養殖業の収穫量は 2 万 9,862 t で、こい、ます類等の収穫量が減少したものの、うなぎの収穫量が増加し、前年に比べて 731 t（2.5%）増加した。

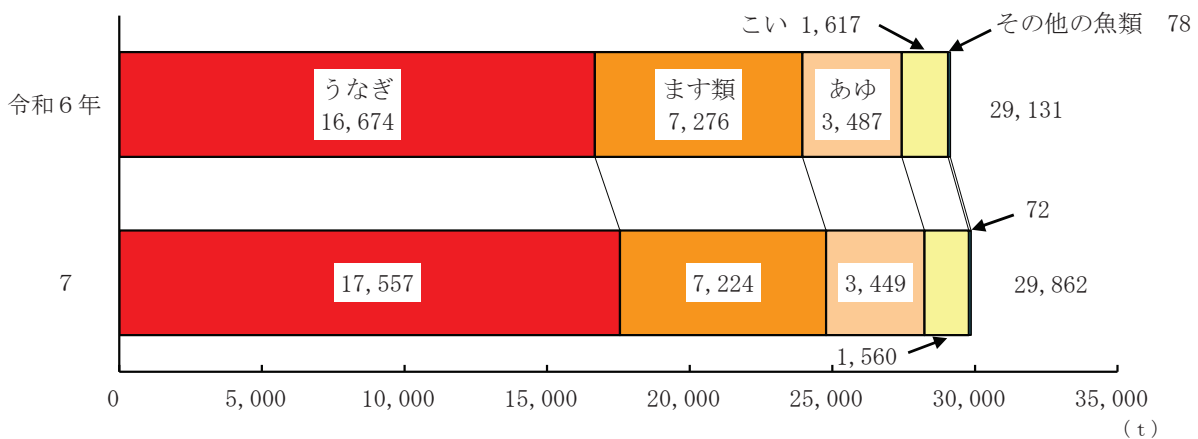
ア うなぎは 1 万 7,557 t で、宮崎県等で増加し、前年に比べて 883 t（5.3%）増加した。

イ ます類は 7,224 t で、前年に比べて 52 t（0.7%）減少した。

ウ あゆは 3,449 t で、前年に比べて 38 t（1.1%）減少した。

エ こいは 1,560 t で、前年に比べて 57 t（3.5%）減少した。

図 8 内水面養殖業魚種別収穫量



### (3) 観賞魚販売量（統計表 2（1）、（4）参照）

令和 7 年のにしきごいの販売量は 238 万 6,000 尾で、前年に比べて 9 万 9,155 尾（4.0%）減少した。

## 【統計表】

<https://www.e-stat.go.jp/stat-search/files/data?sinfid=000040447691&ext=xls>

## 【調査の概要】

- ・ 海面漁業生産統計調査  
[https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/kaimen\\_gyosei/gaiyou/](https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/kaimen_gyosei/gaiyou/)
- ・ 内水面漁業生産統計調査  
[https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/naisui\\_gyosei/gaiyou/](https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/naisui_gyosei/gaiyou/)

## 【調査結果の主な利活用】

- ・ 水産基本計画における水産物の自給率目標を策定する際の資料
- ・ 資源の保存及び管理を行うための特定海洋生物資源ごとの漁獲可能量（TAC）を設定する際の基礎資料

## 【ホームページ掲載案内】

- ・ 本資料は、農林水産省ホームページの統計情報に掲載している分野別分類「水産業」の「海面漁業生産統計調査」及び「内水面漁業生産統計調査」で御覧いただけます。  
[https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/kaimen\\_gyosei/#y](https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/kaimen_gyosei/#y)  
[https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/naisui\\_gyosei/#y](https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/naisui_gyosei/#y)
- ・ 本資料の数値は概数値であり、確定した詳細な数値はホームページに掲載（令和9年2月予定）します。
- ・ 公表した数値の正誤情報は、ホームページでお知らせします。

## 【関連リンク】

水産庁ホームページ

<https://www.jfa.maff.go.jp/>

### お問合せ先

#### ◎本統計調査結果について

農林水産省 大臣官房統計部

生産流通消費統計課 漁業生産統計班

電話：（代表）03-3502-8111 内線 3687

（直通）03-3502-8094

#### ◎農林水産統計全般について

農林水産省 大臣官房統計部

統計企画管理官 統計広報推進班

電話：（代表）03-3502-8111 内線 3589

（直通）03-6744-2037



**政府統計**

政府統計の総合窓口  
(e-Stat)

<https://www.e-stat.go.jp/>



**SAFF**

データのカ。  
農林水産統計  
Statistics of Agriculture,  
Forestry and Fisheries